

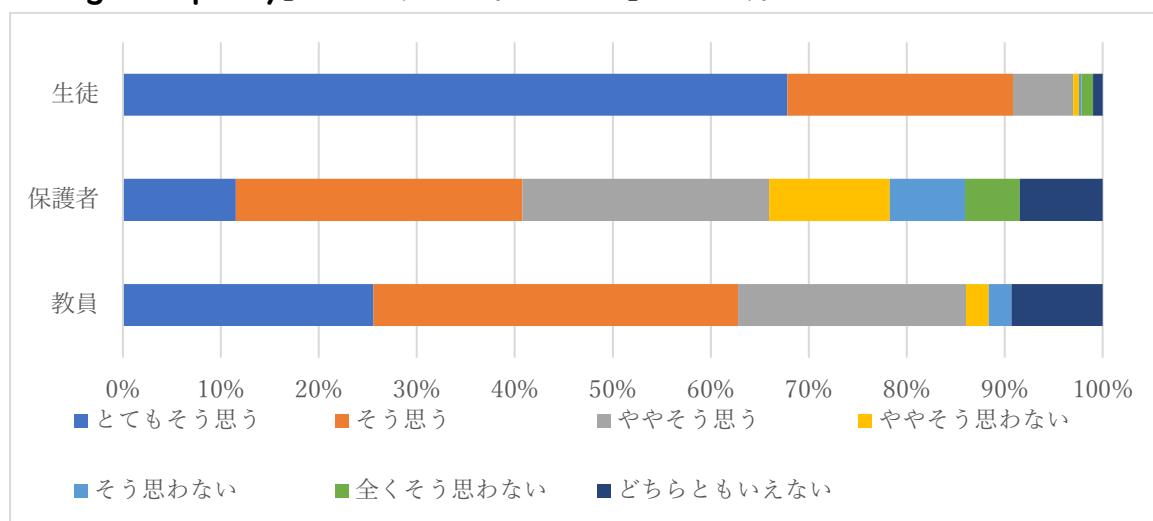
「glow up day」アンケート結果について

保護者の皆様には、「glow up day」の検証アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。573名の保護者の皆様にご回答いただきました。生徒および教員の回答も含め、次年度の対応について検証を行っているところですが、一旦、取りまとめたアンケート結果をお知らせいたします。なお、自由記述は一部抜粋となっておりますが、生徒・保護者・教員の生の声を記載していますので、是非ご一読ください。今後とも「glow up day」の趣旨をご理解いただき、ご協力を願いいたします。

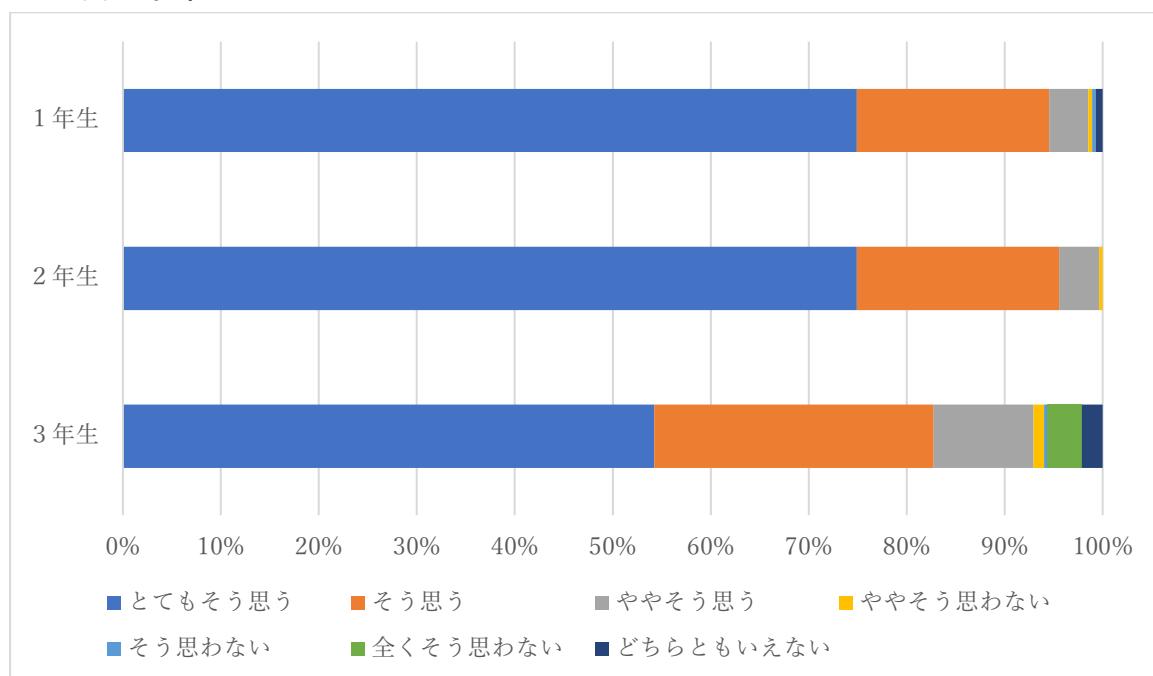
I 結果の概要

(1) 共通質問

- ・「glow up day」は「主体性を身につける」ために役立つか



生徒の学年別グラフ



生徒の自由記述(一部抜粋)

〈肯定的な意見〉

- ・自由な時間を使って有意義な時間を過ごし、ストレス発散にもなっている。
- ・自分で何をするか決められる。
- ・大人になった時数少ない休みを有効に使う力を養うために役立つと思う。
- ・自分ですべきことを考える時間だった。
- ・土日ではない平日ということを活かして、自分がやってみたいことに挑戦したり、成長するために必要なことを自分自身で考えて行動できた。
- ・まとまった時間が与えられることで、どのようにすれば有意義に使えるのかを考える機会となり、主体性を身につけることにつながっていると思う。
- ・他校は通常通りある中で、これをしなければならないという課題がないので、自分はなにをしようかと自ら考えて行動する力を養えると思う。
- ・自分から勉強する、普段行かないところに遊びにいくなど、いつもじゃできないことを自らすることができた。
- ・学校では体験できないことを自分で積極的に挑戦できた。
- ・勉強をしたり、大学を見に行ったり、自分で考えて行動をできた。
- ・部活も宿題もない、しかも平日の休みなので、美術館に行こうと考えたりする余裕ができる。
- ・タイミングのいい休息になった。いそがしい中ではありがたかったが、主体性という面ではわからない。

〈否定的な意見〉

- ・このような休みをどう使うかを考えて自分自身で行動する力を使っているが、休みじゃなくてもいいと思う。
- ・学校がある時の方が、有意義に時間を使ったように感じた。
- ・結局だれてしまう。三連休は逆にしんどい。
- ・自分でちゃんと計画を立てる人と立てない人で分かれる。
- ・勉強しかしてない。

保護者の自由記述(一部抜粋)

〈肯定的な意見〉

- ・夕食の準備を買い物から全て任せてほしいと提案してくれたりしたので、遊びに行く予定を入れるだけでなく家族のことを考えて過ごし方を決めてくれていた。
- ・最初の頃は平日のお休みに浮かれていましたが、すぐに平日でないと行きにくい博物館・美術館見学、大学見学、日頃の疲れ解消、テスト対策など、有効利用を自分で考えるようになり、こういう社会勉強の仕方もあるのだなと感じている。
- ・子供は体力に自信がある方ではないのですが、行事での出番や校外イベントなど忙しい部活に入っていました。休みが少ないと悟っていたので、1、2年生のときはしんどいながらも耐えていました。3年生で glow up day が導入され、我が子の場合はその日はひたらすら休養に当てていましたが、例えば「来週 glow up day があるから、勉強も部活もここが頑張りどころ!」と自分をコントロールする方法を身につけた、大事なときに踏ん張りがきく、と言っていた。glow up day というネーミングもとてもいいと思う。

- ・普段から時間に追われているので、改めてやりたい事等をする事ができた。
- ・高校3年で導入されたので主に大学受験に向けた勉強等に充てたため。高校1年であれば、部活が忙しい人だと友達と遊びにいくのも含めて、もう少し意図に近い使用もできたと思う。
- ・よい試みに感謝している。
- ・何をしてよいか分からず生徒や、より良い過ごし方を探している生徒のために、過ごし方を生徒同士で共有できる仕組みがあると面白いと思う。
- ・将来に向けて、大切な時間をどのように過ごせば良いかをしっかり考えて臨むようにして欲しい。
- ・3年生なので、ほぼ受験勉強に使っていました。本人は自習する時間ができて良かったようです。
- ・せっかくいい制度なのに、宿題をアレコレ出さないようにした方がよいと思う。

〈否定的な意見〉

- ・計画を立てて何か行動をしているなら有意義な1日かと思うが、そうでない場合はただの休日。主体性を身につけるという意味では当てはまる生徒はごく僅かではないでしょうか？
- ・ただただ、身体を休める日になっていた。
- ・ただのお休みになってしまわないように家庭でも話し合いはしていますが、時間の使い方や充実した過ごし方が今ひとつ掴めていないように感じる。
- ・疲れているのか、体を回復させる日になることが多かったように思います。計画して過ごせた日は1,2回だったように記憶している。
- ・休みが多すぎる気がした。
- ・上手く使える子もいるかもしれないが、ただの休みが増えただけな気がした。
- ・ただ単にお休みの日くらいにしか思ってなさそうです。先生が質問に答えてくれる訳でもないし、もっと生徒の学力が上がるよう活用してほしい。

教員の自由記述（一部抜粋）

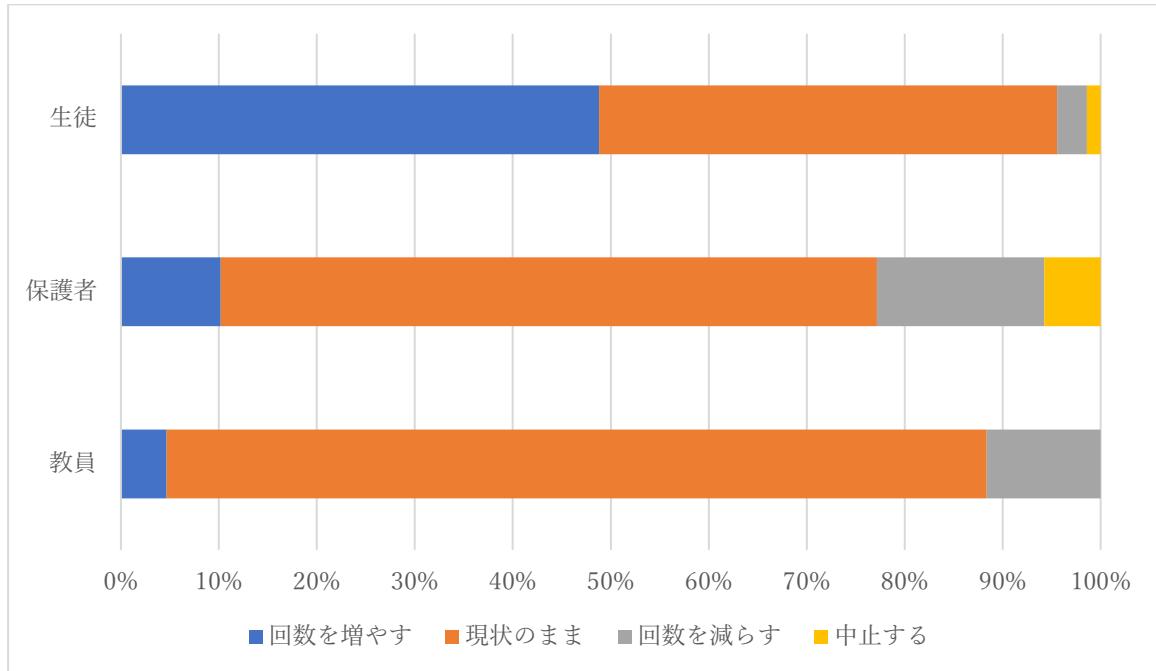
〈肯定的な意見〉

- ・自身で計画して活動を実行するという点では、主体性が十分身につくのに役立つと思う。
- ・もともと主体性のある生徒は有意義に使っていると思う。
- ・多くの生徒は、回数を重ねるごとに自分で使い方を計画できるようになると思うが、glow up day の前にどのように過ごすかアンケートに記入して、どうだったかを振り返るようにしてもいいかもしれない。（事前事後アンケート）
- ・土日では部活動単位での活動となり、友達と遊ぶ機会が限られているが、本年度は部活を越えた友達と時間や思い出を共にする機会を提供できている。
- ・ただの休日になってしまっている生徒も多い。でも高校生は何かと忙しいことを考えると、ただの休日で良いような気がする。

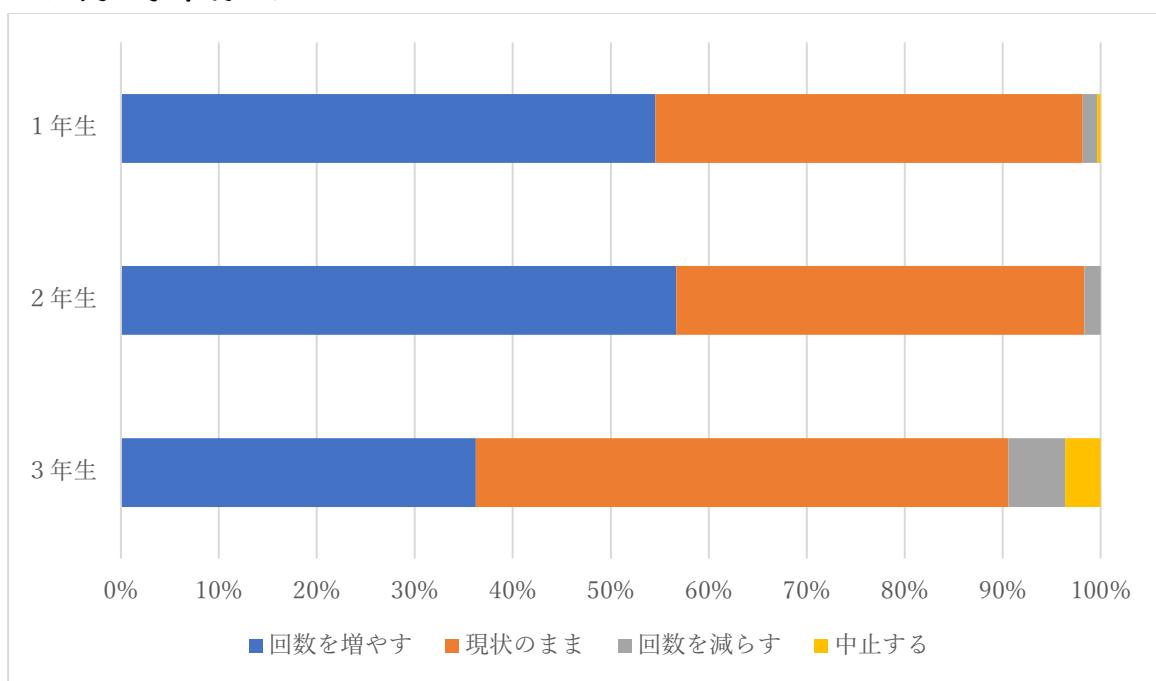
〈否定的な意見〉

- ・部活動がないということはあるが、普段の休日とあまり変わらない。

・来年の「glow up day」の実施についてどのように考えますか



生徒の学年別グラフ



生徒の自由記述（一部抜粋）

〈回数を増やす、現状のまま〉

- ・勉強や日々のモチベーションにつながるため。また、部活が忙しく課題も多いなか、その時間を使って済ませられた。
- ・主体的に取り組める機会を増やすことで自己研鑽に取り組める。
- ・体を休めたり楽しんだりととてもいい日だけど、回数を増やすと授業に十分な時間が取れないから現状の回数がちょうど良い。

- ・回数は今までちょうどいいと思った。学校がある日があまり寝られていないので、平日に休みがあることでいつもより寝られるようになったので、継続してほしい。
- ・glow up dayのためにテストなどを頑張ろうと思えた。
- ・主体的に動けるものだから継続してほしいと思うが、これ以上の回数があると流石に学業の妨げになってしまうと思うし、今の回数がちょうどいいと考えた。
- ・切羽詰まってしまっての時などにグローアップデイを活用して、自分に必要なものをより考え行動できるようになると今年を体験して感じた。
- ・来年も引き続きこういったチャレンジできる機会をたくさん設けて欲しい。
- ・1日をどのようにして過ごすかの計画性を学ぶことができたり、このストレス社会においてフレッシュになる。
- ・今年であったら大阪万博のように、普段部活や学校があると触れられない文化に触れることができた。大学受験や就職を見据えると、もちろん勉強も重要だが、さまざまな出来事、文化に触れて経験を増やすことも大切だと改めて感じる。だから、主体的に自身の経験を積むことのできる glow up day はもう少し多くてもいいのではと思った。
- ・回数を重ねるごとに計画を立てより充実したものになり、もっと増やすことで主体性がさらに身につくのではないか。
- ・遊ぶ時間だけでなく課題の量に対して提出するまでの期間も短いと感じているので、glow up day の1日がとても大きな存在になっている。
- ・回数は増やしても良いとは思うが、授業の進度が速くなったりするのは困るので今の回数で良いと思う。
- ・あまりに多すぎると、授業に支障をきたす。
- ・テスト勉強には使えないが、探究の時間になる。
- ・同じ月に何回もあるより満遍なくばらけさせた方がいいと思う。

〈回数を減らす、中止する〉

- ・学校生活を休みにしてまで主体性を身につけることをしなくとも身につくと思う。
- ・あまりグローアップデーが多すぎると、逆に多くの授業が飛んで授業時間が足りなくなり、1時間に一気に進んでしまうから。それは先生にしても、生徒にしても大変。
- ・増やすかどうかは別として継続はしてほしいと思う。後輩のみなさんもきっと glow up day があれば疲れが取れて学校に来るのが楽になると思う。休みを増やすかに関しては、増やしそうでも逆に学校に来るのがしんどくなると思うので、個人的にはあと2,3日ぐらいでいいと思う。
- ・回数が多すぎてもただのゴロゴロする時間になる。
- ・行事やテストの多い月に何度もいらないと思う。3学期は元々休みが多いのでなくても良いと思う。
- ・主体性が身につかない人がいるかもしれない生活習慣が変わってしまう可能性がとてもある。
- ・学校で過ごした方が有意義な時間が過ごせると感じた。
- ・glow up day によって生徒を甘やかしてしまうと、生徒は自分に厳しい人間になれなくなる。
- ・土日で部活のない日を作るくらいでいいと思う。

保護者の自由記述(一部抜粋)

〈回数を増やす、現状のまま〉

- ・御影高校独自の良い慣習と思う為、継続していく事で学校の特色になると感じます。
- ・正直課題の多さや部活動のハードさに本人も疲弊しきっているが、完全にオフにできる日があると気分転換になるし、充電できると思う。
- ・まだ、この glow up day の趣旨がわからない子も多いと思います。今年度からの施策ですので、1 年度だけではデータにはなりません。try and error をしながら数年をかけてより良い制度になればと感じる。
- ・今年の日数は月 1 日前後と、多すぎず少な過ぎずでちょうど良い頻度だったと思う。
- ・回数が増えると、貴重感がなくなるし、あまりに多いと学習にも影響が出そうなため、現状で良いと考える。
- ・時間や予定に追われることのない休日は良いことだと思う。
- ・生徒たちは、初めて「どう休むか」を考え始めた段階です。計画がうまくいかず、一日が終わってしまうこともあると思いますが、だからこそ現状の回数を維持しながら経験を積んでいくことが必要だと思う。
- ・他の学校に通っているお子さんや親御さんにとても良い取り組みだねとよく言われた。
- ・たとえ何も行動しなくても身体を休める事ができる日があるのでよろしいかと思う。
- ・勉強にも時間は使えるし、自分を見つめ直したり、将来の事を考えたり、友達や家族と過ごしたり、そういう事もとても大事なことだと思う。自分でやりたい事が出来る日というのは大人になると、なかなか作れなくなる。受験勉強も大変になる高校生。それだけで終わってほしくないので glow up day はこのまま残してあげたい。
- ・自分のために自由に使える時間をもらえる…なんて、社会人になったら皆無なので、高校、大学時代にどう使っても自己責任的な時間をもらえるのはありがたいです…自由な時間を生かすも殺すも自分次第!って事で。
- ・学校行事などもあったり、これ以上増やすと、授業日数が足りるのか不安になる。
- ・遊んではばかりだったので、自省のためにも計画書→実績等記録してほしいと思いました。制度 자체は素晴らしいと思います。
- ・登校している中で、主体性の持てる時間の使い方を進めていった方が、充実して時間を使えるように思います。
- ・忙しい日々の中でそのような特別な日があると単純に喜び、その日を楽しみに頑張ってくれるような気がします
- ・主体性が身に付いたかどうかは分からぬが、カレンダーにない休みがある事で子供は嬉しそうにしていたし、心身のリフレッシュになっていたようなので。先生方の自己研鑽等にも生かされているのなら継続でいいと思う。

〈回数を減らす、中止する〉

- ・授業時間に影響が出過ぎるのであれば、今より回数が減る事も仕方ないのかもしれないとは思うが、これから先の将来も含め自分の為に時間を使える事がどれだけ貴重かと思うのでなくさないでほしい。
- ・遊ぶのではなく、体験や学習をして欲しい。
- ・授業の遅れが気になるので回数は減らしてもいいのではないかと思う。

- ・個人的には適度。その都度自分の状況に見合った違う過ごし方をして有意義であったと感じる一方で、同じ遊戯施設へばかり出かけていた複数名の話を耳にすると、本来の意義を見失った行動でなかったのか、残念で継続の有無も悩ましい。
- ・怠惰に過ごすのであれば、学校に行って授業を受けてもらいたい。
- ・継続する場合は、年に1または2回程度にする。目標をたて、しっかりと行動を計画して行うようにしないと意味がないと思う。
- ・全く必要だと思わない。有意義に過ごす子供が多いとは思えない。
- ・公立高校は、私立高校と比較し、長期休暇が多い上、圧倒的に授業数が少ないとため、受験演習の時間が足りないのが現実です。わざわざ、休みを増やす利点が感じられません。
- ・単発の休みより夏休みや冬休みを長くした方が良いと思う。
- ・先生方も生徒も休日のしわ寄せが平日にきているのであれば、中止しても構わないと思う。

教員の自由記述（一部抜粋）

〈回数を増やす、現状のまま〉

- ・行事翌日や模試翌日など、疲弊している生徒がリフレッシュすることも、事前に決めていた活動をすることもできており、ちょうどいい日数ではないかと思います。
- ・授業時間の確保を鑑みると、この回数をさらに増やすことは難しいのではないかと考えます。
- ・回数はそのままよいが、設定日は再度検討していく必要があると考えます。

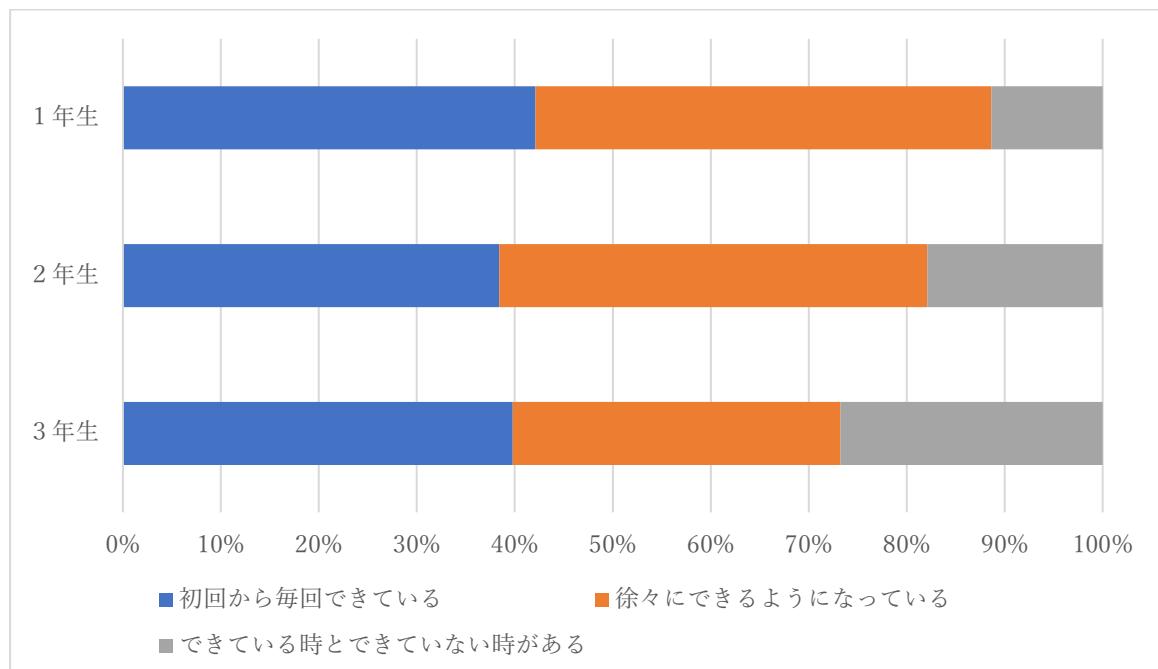
〈回数を減らす〉

- ・授業時間数が少なくなり、授業の進度に関して今までより余裕がない感じがする。

（2）生徒のみの質問

「glow up day」の取り組み状況について回答してください。

「事前の計画」についてはどうでしたか。



生徒の自由記述（一部抜粋）

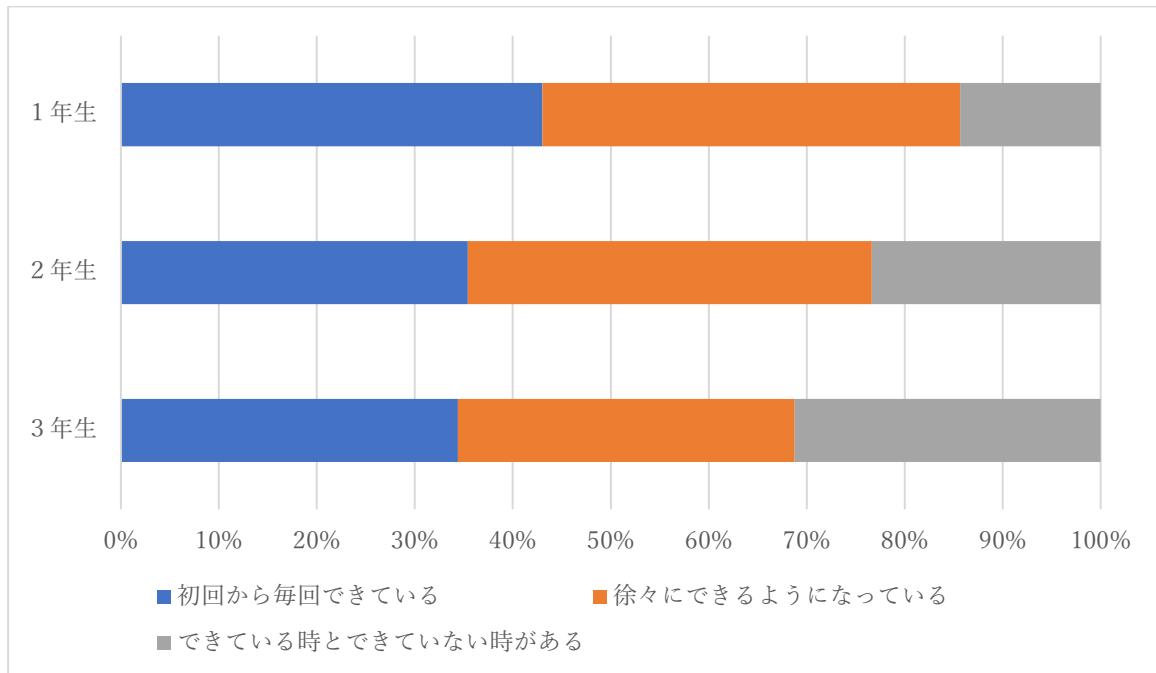
〈初回から毎回できている、徐々にできるようになっている〉

- ・毎回 glow up day の予定をちゃんと決めてから過ごしていた。
- ・毎グローアップのときに、次回のグローアップの予定をなんとなくはたて、一週間前には確定した。
- ・前からグローアップデイが休みなことがわかっているので、それに合わせて友達と「ここに遊びに行こう」「何時にここに集合」「どのようにそこへ向かうのか」などを決めて遊びにいくことができた。
- ・一年を通して glow up day の日付を確認しておき、この日はテストが近いので勉強しよう、またその次の glow up day では前日の疲れを取るために休養を取ろう、などあらかじめ設定することができた。
- ・glow up day 前後の予定を考慮しながら、家族や友人に相談を持ちかけたり、心置きなくその日を迎るために、下調べをした。
- ・初回の時から、料理であったり、旅行であったり、芸術鑑賞であったりとその日をどう過ごすか決めて glow up day を活用することができた。
- ・次の glow up の日に向けて学校を頑張るために早めに計画を立てるようにしている。計画を立てる力が身についてきた。
- ・最初は無計画で過ごしていたけれど、それだと全く無意味な1日になると思ったことから、徐々に計画して過ごすようになった。
- ・最初は勉強の内容の計画を立てていなかったけどどんどん計画を立てるようになった。
- ・回数を重ねるごとに計画を立てる力がついた。
- ・初めは無計画に過ごして無駄にしてしまうこともあったけれど、だんだんと何をするか考えて、有意義に過ごせるようになった。
- ・一学期はせっかくの休みだからと遊びに費やしていましたが、2学期に入り、勉強に対する意識や焦りみたいなものが生まれてきたことで、計画をたてて勉強するようになった。
- ・課題に取り組む日や予定などを glow up day を加味して考えることができたから。
- ・その日にあわせて散髪や病院の予約を取っていた。

〈できている時とできていない時がある〉

- ・前日の行事が大変で計画を立てる気になれなかった。
- ・計画をすることはあまり得意ではない。
- ・Glow up day の前日がだいたい行事なのでバタバタしてあまり計画が立てられない。
- ・知らなかった。
- ・glow up day がいつか把握がギリギリになってしまうときがある。
- ・大抵イベント後なので疲れを取る目的でゆっくりするのが多くて、計画とかあまり立てられなかった。
- ・気づかぬうちに glow up day がやってくることが多かった。
- ・面倒で計画を立てない時が多くて。
- ・模試の後とかは疲れてた。
- ・3年なので勉強するだけです。

「計画に基づく生活」についてはどうでしたか。



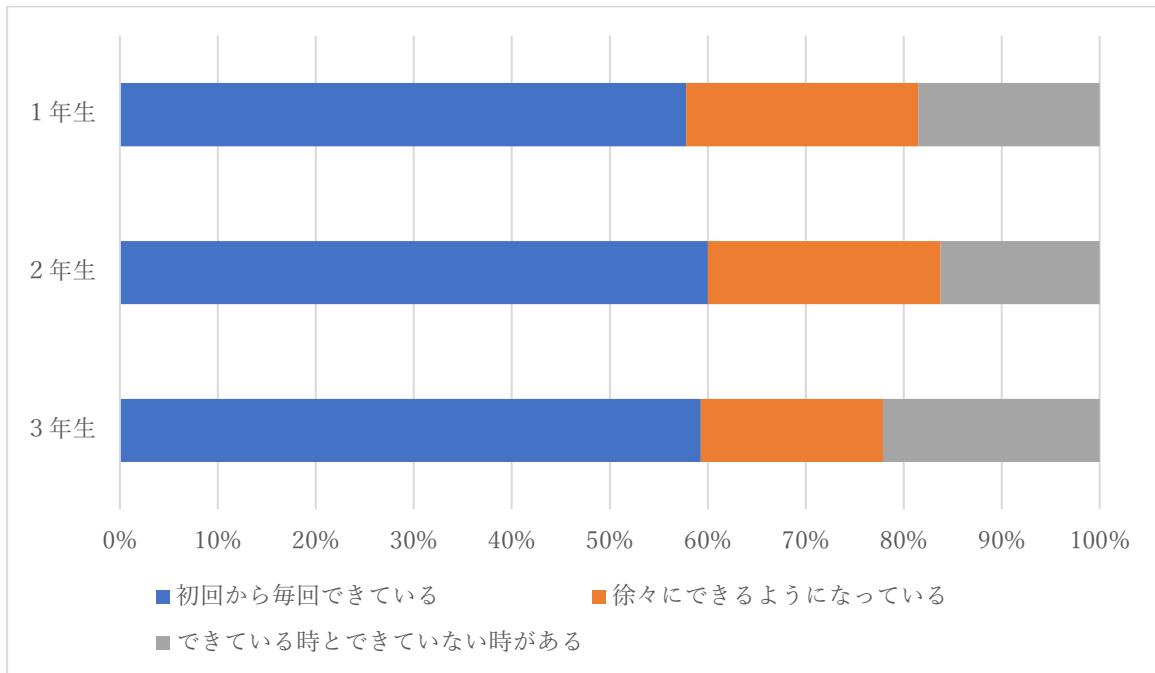
〈初回から毎回できている、徐々にできるようになっている〉

- ・計画をしっかりとくんで動けた。
- ・したいことを決めてるので、やり切るまではし続けられた。
- ・最初は1日の時間の使い方がうまくできなかつたけど、今では、午前、午後に予定を分けて行動できるようになった。
- ・glow up のおかげで前日まで崩れかけていた体調をバランスよく整えることができた。
- ・絶対にやりたいこと、行きたいところを予定に組み込んでいた。
- ・計画的に一日を過ごすことにより、無駄な時間が減った。
- ・計画を立てたものの、いざ当日になるとただ家でゆっくりしてしまうこともあった。しかし、元気のある日はきちんと計画通りに過ごせていることもあった。
- ・早寝早起きをしっかりと意識できた。
- ・積極性を持っていて、自分の目標を達成しようという気持ちで取り組めた。
- ・あらかじめ計画しておいたことは実行した。でも臨機応変に、急に予定が変わったとしても他にやりたかったことを実行することができ、今までの glow up day では計画に基づきながら過ごすことができた。
- ・計画したことを自分は全部できたことがなかったけれど、回数を重ねる中で少しずつできるようになってきている。

〈できている時とできていない時がある〉

- ・計画をしたとしても実行できていない部分もあった。
- ・結局休みだからダラダラしてしまうことが何回かあった。
- ・そのときやりたいことが急に変わったりした。
- ・計画をしていなかった。
- ・疲れて寝ていた。

「振り返り」についてはどうでしたか。



生徒の自由記述（一部抜粋）

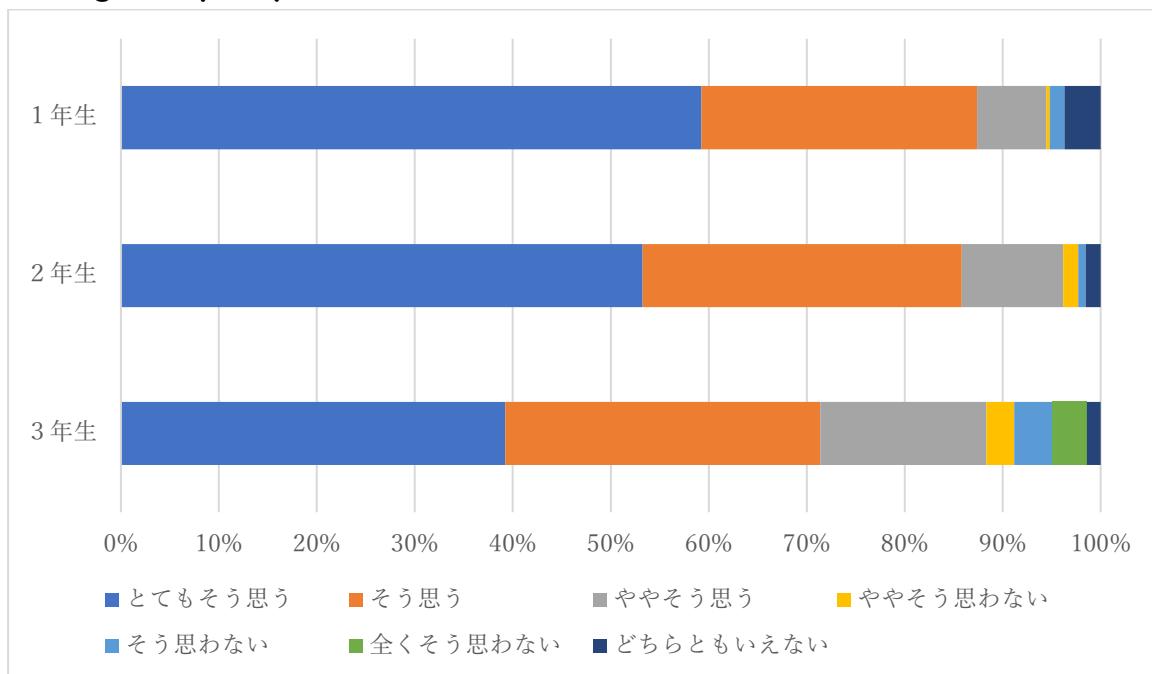
〈初回から毎回できている、徐々にできるようになっている〉

- ・glow up day について振り返る習慣がついた。
- ・今回の glow up day でどういう風に過ごしたのかを踏まえて次は無駄な時間を生まないように反省できていた。
- ・一年間にある限られた回数しかない glow up day を計画的に過ごすために、毎回 glow up day の振り返りを行うようにしていた。やろうと思っていたことができたかどうか、できなかつたら次の glow up day にどう生かすかを一年を通して計画し、その都度振り返った。
- ・glow up day での経験を重ねるごとに、写真や日記を見返して振り返ることができた。
- ・Classi でアンケートが配布されるため、振り返る機会があった。
- ・毎回「こうしたら良かったな」など考えられた。
- ・初めの頃は遊んではばかりで振り返ることもなかったけれど、最近は良い活用をして振り返りをしている。
- ・途中から、夜寝る前にどのように過ごしたかを振り返りながら寝るようにした。
- ・反省を次に活かしてより有意義に過ごしたいと思い、振り返りをしている。
- ・アンケートにもしっかり答え、1 日を終えた時に glow up があって良かったなと思っていた。
- ・「今回は○○をしたから、次回は△△をしよう」と言うふうに、考えることができていた。

〈できている時とできていない時がある〉

- ・振り返りはあまりしていない。でも、もうちょっとこうできたなと思うことはある。
- ・忙しいと感じている日は無理でした。
- ・振り返るほどのことをしていないことがある。
- ・誰もやってる気配がないし自分もしていない。
- ・振り返ってどうするのかが分からない。
- ・振り返りの大切がわからない。

「glow up day」によって自己調整力が向上しましたか



生徒の自由記述（一部抜粋）

〈肯定的な意見〉

- ・時間を有意義に使おうと思うようになった。
- ・今の自分は何をするべきか考える時間になった。
- ・計画的に行動できるようになった。
- ・自分で考えて、時間の使い方を決め実行することで、成長できたと思う。
- ・身の回りや気持ちの整理ができた。
- ・自分と向き合えていた。
- ・主体的に行動する力が身についた。
- ・疲れた次の日が休みになったりしたらゆっくり家で過ごすこともできるので glow up day の日だけではなく次の日の自己の体調なども計画的に調整できた。
- ・前よりはどうこうしようと自分で思うことが増えた。
- ・今まで休みは怠惰に生活していたけれど、なにかやってみようという日があるとやってみようと思う気持ちになった。
- ・授業についていけないところや課題が詰まっている時にこの日を使って調整できた。
- ・自由な時間が増えたことで心にも余裕が出来て、色々なことに目を向けて行動に移すことができた。
- ・普段とても忙しいので、調整を考えることなく過ごしてしまっているが、グローアップデーにより少し自己調整の余裕が生まれた。
- ・事前の計画通りあらかじめ動くようになったといえばそうだし、元々こうだったとも言える。
- ・glow up day を通して、普段の休日では計画を立てていなかつたけど、このときは計画を立てて少なからず上がった。
- ・一日の計画を詰めすぎると疲れが出てきてしまうので、計画は立てても完璧にそれ通り過ごすのではなく、塩梅を考えながら過ごせた。

- ・周りの取り組み方を見て、自分の勉強の仕方や一日の過ごし方に変化が起きた。
- ・勉強と部活と遊びの両立に役立った。また、溜まっているものをリセットできた。
- ・自分で自由にすることを選ぶことができる日を設けてもらうことで、何をしようか、何がしたいのか、などを考えるようになった。
- ・自分の体調を考慮してすべきことを進める力がついたと感じる。
- ・スキマ時間の使い方が大事だと日頃から先生方に教わっているため、その力がそのままグローアップ Day にも活かせている。
- ・午前中計画通りいかなくても午後頑張ろうと思えた。
- ・普段自分で予定を立てることが少ないから、誰とどこで何をするかを細かく決めて、自分の予定とも照らし合わせることができるようになってきた。
- ・メリハリをつけた生活の大切さを学んだ。
- ・自分で勉強する時間とリフレッシュする時間を決めることで集中し、一日を使うことができた。
- ・自分のしたいことができるが、やることが少し偏ってしまう。

〈否定的な意見〉

- ・特に休みをつくることで上がるとは思えない。
- ・サボる日があった。
- ・計画通りに出来なかった。
- ・つい遊びに行く計画になってしまう。
- ・部活があったり友達に合わせたりで自分が成長できた気はあまりしない。
- ・自己調整力がよくわからない。

(3) 教員の意見抜粋

- ・滞っていた仕事を少しでも実施できたので、良かったと思います。
- ・glow up day の導入により、多忙感が薄らいだように感じます。
- ・体調を整えたり、日頃行けない病院や、役所に行ったり、残っている雑務を整理したりなど、教員側もリセットするのにいい日になっていると思う。
- ・部活動がないので年休が取りやすくありがたい面は確かにある。
- ・想像以上に生徒は日頃できない事に取り組もうとしていたように感じました。試合前やコンクール等大会の部活動に限り1時間半の練習可というルールは、改善余地ありと思っていましたが、進んでいくにつれ適切であるように感じました。
- ・年間7回のうち2回ぐらいは生徒会に日程を決めさせてもよいと思った。
- ・生徒や保護者への発信の在り方や教員の意図の共有は改善の余地があると思います。
- ・教材研究や自己研鑽に充てることができた。

総括

1 「glow up day」は「主体性を身につける」ために役立つか

アンケート結果から、生徒の95%、保護者の65%、教員の85%以上が肯定的に捉えている。

生徒を学年別に見てみると、「とてもそう思う」の割合が1・2年生は共に70%を超えているが、3年生は50%強にとどまっている。

2 来年の「glow up day」の実施についてどのように考えますか

アンケート結果から、回数を増やす意見は、生徒の50%弱、保護者の10%強、教員の5%弱であり、現状のままが生徒の50%弱、保護者の65%、教員の80%となっている。

3 「glow up day」の取り組み状況について

①「事前の計画」についてはどうでしたか。

初回から毎回できていると回答した生徒は、どの学年も40%程度で大差は無かった。一方、徐々にできるようになったと回答した生徒は、1・2年生は45%程度であるが3年生は30%強であった。さらに、できている時とできていない時があると回答した生徒は、1年生の10%であるのに対し3年生は30%であった。

②「計画に基づく生活」についてはどうでしたか。

事前の計画のアンケート調査の回答と、どの学年も大差は無かった。

③「振り返り」についてはどうでしたか。

初回から毎回できていると回答した生徒は、どの学年も60%程度で大差は無かった。一方、徐々にできるようになったと回答した生徒は、1・2年生は25%程度であるが3年生は20%弱であった。さらに、できている時とできていない時があると回答した生徒は、2年生の15%強であるのに対し3年生は20%強であった。

④「自己調整力が向上しましたか」についてはどうでしたか。

とてもそう思う、そう思うと回答した生徒は、1・2年生は85%程度で、3年生は70%強であった。ややそう思うも含めると、1・2年生は95%程度で、3年生は90%弱であった。

4 まとめ

令和7年3月21日に新2・3年生の生徒・保護者の皆様に、また新入生・保護者の皆様には入学式で「glow up day」についての案内文を配布しました。そこには趣旨・目的・設定日・補足事項を明記していましたが、アンケート調査から保護者の皆様への周知不足が見えてきました。生徒に対しては5月8日に外部講師をお招きした講演会や、実施日の1週間前にはClassi等を通じて呼びかけるなど、様々な機会を通じて周知を行ってきました。また、実施後は簡単なアンケートを行い、各自が振り返る機会を作っていました。今回のアンケート調査を契機に「glow up day」の趣旨と目的を明確にし、今後の取組に活かしたいと考えます。

来年度に向けて以下のとおり検討しています。

(1) 趣旨

- 社会が急激に変化し不確実さや不透明さが増す中にあって、これからの社会の形成者としての資質・能力を育成するために、生徒が自己理解を深め、自分の在り方・生き方を考え、社会に主体的に参画する「主体性の育成」が求められている。
- 教職員についても、これからさらに求められる新たな学びに対応するための自己研鑽や研修が必要になるとともに、全社会的な「働き方改革」の中でワークライフバランスの確保が求められている。
- 本校では、これまでにも上記のことを踏まえた取組を行ってきたが、生徒・職員に求められることのより一層の充実を図るため、「glow up day(臨時休業日)」を試行的に導入する。

(2) 目的

[生徒]

- * やるべきことを計画的に行う主体的な学びの充実
- * 自身で時間管理を行う経験の蓄積(普段できないことへの取組や心身のリフレッシュ等)

[職員]

- * 新たな学びや ICT 活用等に対応するための自己研鑽・研修
- * 心身のリフレッシュ(年休取得等の推進)
- * 超過勤務の縮減

(3) アンケートから

アンケートのどの項目についても、生徒は概ね「glow up day」の趣旨を理解して行動し、来年度の継続を望んでいる。特に回を重ねるごとに、計画・行動・振り返りができる生徒が増加したことは、生徒が主体的に行動する意識が高まってきた表れと考える。また、多くの保護者や教員も「glow up day」が、生徒の主体性を伸ばす一助になっていると理解し、来年度の継続を望んでいる。

一方、一部の生徒や保護者からは、授業が減り学力低下が心配であり、来年度は中止や回数を削減する声もある。その心配はもっともな意見だと考えられるが、授業内容の精選等で十分カバー可能である。何よりも生徒の主体性を伸ばすことが、授業に良い影響を与える力を伸ばし、生徒一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していく在りたい自分になるにつながると考える。

さらに、計画・実行について報告書を学校に提出させては如何かとの意見もあった。もっともな意見だと思う。ただ、私としては教員や保護者が生徒を外形的に管理するのではなく、生徒自らが「どう計画し、どう行動に移し、それを振り返る」ということを生徒それぞれのペースでを行い、次に行動に繋げることを大事にしてもらいたいと考えている。

今回のアンケート結果を踏まえ、来年度の「glow up day」を生徒にとってより主体性が高まる日にするために、プロジェクトチームで議論を深めている。

(4)補足資料

部活動実施数

	運動部	文化部
5月26日	4	1
6月13日	3	0
7月17日	2	0
10月3日	5	0
10月20日	1	2
11月12日	2	1

自習室利用者数

5月26日	2
6月13日	1
7月17日	0
10月3日	1
10月20日	0
11月12日	1